岩手県立千厩病院
回復期リハビリテーション

千厩病院の紹介

院長
宗像　秀樹
［専門：整形外科］

当院は一般病棟・地域包括病棟・回復期病棟の３つの病棟を有しています。常勤医９名で（総合内科医２名・消化器内科医１名・総合外科医４名・脳神経外科医１名・整形外科医１名）その他、多数の非常勤医師の応援に支えられています。地域包括ケアシステムの中、病院と在宅をつなぐ役割を担っていきたいと考えています。行政や他の医療機関・介護施設と連携し［すべての人々に安心と希望を］のスローガンのもと出来ることを精いっぱい職員一同頑張っています。

リハビリテーション技術科の紹介

千厩病院リハビリテーション科は現在１５名のスタッフで、脳血管疾患・運動器疾患・呼吸器疾患等のリハビリテーションを行っています。

平成 25 年７月からは５階病棟を回復期リハビリテーション病棟として開設し、他の急性期病院などから患者さんを受け入れて、集中的にリハビリテーションを提供するとともに、円滑な自宅退院を目指します。

基本理念・基本方針

＜基本理念＞

病院の理念・方針のもと、両磐圏域のリハビリテーション医療の充実を図り、地域医療・福祉・保健に貢献します。

＜基本方針＞

地域に根ざしたリハビリテーションを提供し、一日も早い社会復帰を目指すよう努めます。

信頼と満足の得られる患者様中心のリハビリテーション医療を提供します。

リハビリテーション技術科の概要

施設基準

- 脳血管疾患等リハビリ　（Ⅰ）
- 運動器リハビリ　（Ⅰ）
- 呼吸器リハビリ　（Ⅰ）
- がん患者のリハビリ

スタッフ数

- 理学療法士　８名
- 作業療法士　６名
- 言語聴覚士　１名
- リハビリテーション助手　１名

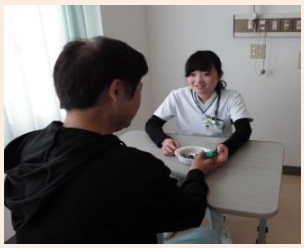
私たちがリハビリテーションを担当しています。
３職種による満足度及び質の高いリハビリテーションを提供するため、研修会などにも積極的に参加し、知識、技術の向上に努めております。

各療法の紹介

理学療法

関節可動域の拡大、筋力強化、麻痺の回復、痛みの軽減など、運動機能を改善し、起き上がる・座る・立つ・歩くなどの動作が出来るように練習を行い、自宅復帰または社会復帰を目指します。

作業療法



洗面・食事・排泄・買い物・調理・入浴方法など、日常生活動作の改善とともに社会で生活する力を取り戻す治療を行います。また、必要に応じて介助指導や住宅改修・福祉機器の相談も行います。

言語聴覚療法

ことばの障害や、食べる機能の障害をもった方の、社会復帰や機能改善を目指し、個別プログラムを立てて、リハビリを行います。

リハビリテーション広域支援センター事業

平成 27 年 4 月から、両磐地域リハビリテーション広域支援センター(Ⅱ型)の指定を受けました。

主な事業として、リハビリ関係職員の研修会・一般市民のリハビリテーションに関する相談窓口・市町村への技術支援・リハビリテーション専門職員のネットワーク構築等を行っています。また、当院は広域支援センター病院として両磐圏域のリハビリテーションの中核を担っています。

回復期リハビリテーション病棟の紹介

回復期リハビリテーション病棟は多くの医療専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、自宅復帰を目指すことを目的に平成 12 年に全国的に開設されました。

当院では平成 25 年 7 月より 5 階病棟を回復期リハビリテーション病棟として開設し、現在は病床数を 35 床として、365 日、土・日・祝祭日もリハビリテーションを行っています。

5 病棟看護師長
菊池　ひとみ

「住み慣れた地域へつなぐ看護実践」を病棟目標に、看護師・リハビリテーションスタッフと共に患者さん個々の生活環境を整え、患者さんの全身管理や身の回りのお世話を行うとともに、訓練室で「できる ADL」を病棟（生活の場）で「している ADL」に繋げるように援助しています。

「遊びを取り入れたリハビリテーション：遊びりテーション」はカラオケ・ゲーム・季節の作品作りなどを通じて入院生活の気分転換やコミュニケーションの場となり、意欲の向上にもなっています。

多くの医療専門職がチームで連携して関わり、住み慣れた地域で安心してその人らしく自立した生活（社会復帰）が出来るように援助しています。

回復期リハビリテーション実績(平成 29 年度)

◎回復期病棟受け入れ状況

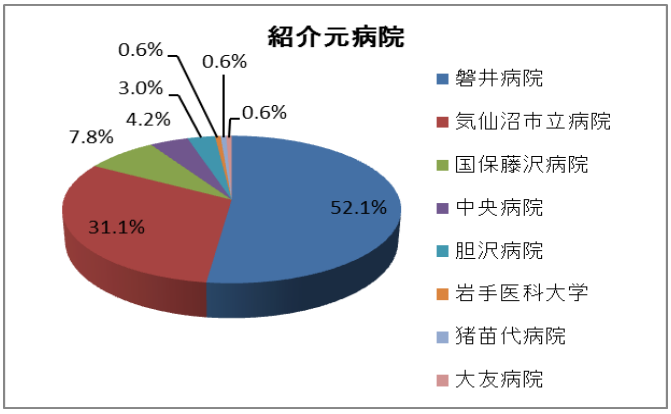
紹介患者数　231 名

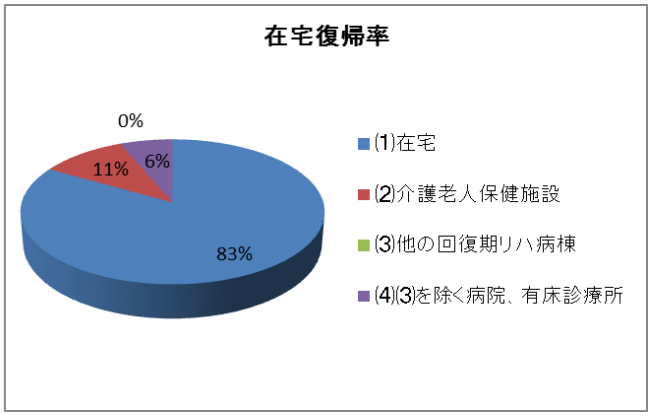
内回復期病棟入棟患者数　193 名

◎在宅復帰率

退院患者数　　173 人（紹介を含む）

在宅復帰率　　83.2%





◎患者 1 日あたり単位数　3.48 単位(休日外　4.57 単位／休日・祝祭日　1.23 単位)

◎入棟患者総数 211 名、1 日平均入院患者数 29.13 名、平均在院日数 51.7 日

◎FIM 利得／FIM 効率(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)

FIM(機能的自立度評価)とは、日常生活の自立度を運動と認知項目から客観的に評価する方法です。満点は 126 点、最低 18 点となります。

・FIM 利得　　22.7　(全国平均　21.0)

＊FIM 利得とは入院中のリハビリテーションで日常生活動作が改善した点数のことであり「退院時 FIM－入院時 FIM」で算出します。

アクセス

連絡先

〒029-0803

岩手県一関市千厩町千厩字草井沢 32 番地 1

電話：(0191)53-2101

FAX：(0191)52-3478

※「千厩病院」で検索すれば、当院の情報はホームページでご覧いただく事ができます。

心の絆が復興に

若草リボン

作成/監修：岩手県立千厩病院　リハビリテーション科